

【取組の目的、内容】

本事業では、本校と鳥羽商船高専との紀伊半島をまたぐ連携を主軸とした新たな海洋研究・教育・地域貢献を推進する。主要研究課題として、津波や海上の落雷被害等に係る防災・災害時連携、メタンハイドレート等の海洋エネルギー資源、水産資源や海産物等の海洋生物資源と多様性、海岸保全修復等の研究を推進し、それらの研究成果を海洋分野の研究者・技術者を育成するための教育にフィードバックする。さらに海洋に関わる産業振興を図り、地域貢献としての新産業創出を試みる。これらの事業内容は鳥羽商船高専との緊密な協働のもとに推進し、**工業高専と商船高専の特長を活かした新たな海洋研究・教育・地方創生の拠点構築及びKRA（国立高専リサーチ・アドミニストレーター）との協働による産官学が連携した推進体制の構築**を目指す。

【実施体制】



【工程表】

期間	H30前期	H30後期	H31以降
研究開発	海洋に係る課題発掘 海洋研究開発の始動	海洋研究開発の推進, WG開催 学会発表, シンポジウムの開催	研究開発の更なる高度化・多様化・ ノウハウパッケージ化
教育	海洋教育の課題発掘・ 始動	公開講座開催, 研究成果の教育へのフィードバック	公開講座・海洋教育の 更なる推進 ノウハウパッケージ化
地域貢献	地域自治体・企業・研究機関との連携強化 ネットワーク形成, 情報発信		新規産業創出への取組 協定締結の推進



防災力強化・災害時連携



海洋エネルギー資源



海洋生物資源・水産
海洋保全修復・環境影響評価

【成果指標】

- 海洋に関する公開講座開催件数の増加：3件（H29）→ 5件以上（H30）→ 20件以上（H31）
- 海洋に関する学外研究発表件数の増加：5件（H29）→ 18件以上（H30）→ 33件以上（H31）

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 海洋に係る研究開発課題の発掘と解決を図ることにより、研究開発力および教育力の強化を目指した取組を進める。
- 工業高専-商船高専連携による新たな海洋研究・教育モデルを確立して横展開し、かつ高専のプレゼンスを高める。
- 研究成果の对外情報発信や教育へのフィードバックを実施し、産業界との連携も図りながら新産業創出も試みる。